

## 平成 25 年度事業報告

平成 25 年度は、山形市内にて最上義光公没後四百年を記念した行事が実施され、また山寺では立石寺根本中堂御本尊薬師如来御開帳が行われ、事業を展開する上で相乗効果が期待される環境であった。

特筆する事業として山寺芭蕉記念館は、御本尊御開帳記念として「**山**長谷川コレクションに見る山形の名品展」を開催して 5,034 名の入館者があった。企画展「山寺」では関連事業として研修棟を会場として記念コンサートを行い、施設の魅力をアピールする機会とした。また、「**山** 穎原退蔵・尾形侷コレクション展」を開催して、国文学者尾形侷氏のご遺族からご寄贈いただいた貴重な国文学資料の数々を公開する機会とし、4,153 名の入館者があった。

最上義光歴史館では最上義光公没後四百年記念として企画展示「最上義光と連歌」を実施し、平成 24 年 6 月に山形市が購入した最上義光等の連歌巻『賦何船連歌』の初公開を行うとともに、当館で所蔵する最上義光の連歌資料を一堂に公開した。また、受託事業として、特別展「重要文化財 光明寺本『遊行上人絵』」の開催と記念誌『最上義光公没後四百年 ～その生涯と事績～』の刊行を行い、特別展では重要文化財光明寺本『遊行上人絵』十巻全巻の公開と図録刊行を行い 10,002 名の入館者があった。

総体的には、両館とも展示施設としての役割を発揮して事業展開を行った。

山寺芭蕉記念館の年間入館者数は、展示棟は 20,323 人で前年対比 2.8% の減少で、御開帳時の 5 月の入館者は前年対比 98% の増加であったが、それ以外の月が伸び悩み、研修棟利用者数は 7,375 人で前年対比 58.5% の増加で、これは御開帳時に開催された裏千家東北大会等での利用により大幅な増加となった。

最上義光歴史館は最上義光公没後四百年の各種行事の実施の中で注目を集め、年間入館者数は 30,037 人で前年対比 34.1% の増加となった。

## 1. 事業計画による主催事業について

### 山寺芭蕉記念館事業

#### (1) 展示事業

##### ① 企画展「お雛さまの歴史と美」(24年度事業)

江戸時代の雛人形を中心に展示。雛人形や桃の節句の歴史とその美術を紹介し、日本文化の美を考え、芭蕉がふれた文化の一端を理解する一助とした。

○開催期間 2月21日(木)から4月8日(月) (延日数47日間)

○入館者数 1,839名


##### ② 常設展

「芭蕉の生涯」テーマ展示「芭蕉の周辺と蕉門」と題して常設展を開催した。

○開催期間 4月12日(金)から4月24日(水) (延日数13日間)

○入館者数 343名

##### ③ 立石寺根本中堂御本尊薬師如来御開帳記念 企画展「長谷川コレクションに見る山形の名品展」

長谷川家により山形に伝えられてきた書画・陶磁器などの名品を公開した。

○開催期間 4月26日(金)から6月3日(月) (延日数38日間)

○入館者数 5,034名

○ギャラリートーク 5月3日 相原一士当館学芸員 参加者6名

##### ④ 常設展

「芭蕉の生涯」、テーマ展示「江戸時代の絵画」、テーマ展示「妖怪と文学・美術」と題して常設展を開催した。

○開催期間 6月6日(木)から8月27日(火) (延日数82日)

○入館者数 5,745名

##### ⑤ 最上義光公没後四百年記念 企画展「山寺 - その歴史と文人・画家たち - 」

山寺の歴史と共に芭蕉などの俳人・文人や画家に与えた影響に焦点をあて、山寺を文化との関わりから理解する一助とした。

○開催期間 8月29日(日)から9月30日(月) (延日数32日間)

- 入館者数 2,511名
- 企画展「山寺」記念コンサート L'erable(taka+鳥越啓介)Tour  
9月6日(金) 参加者数 50名

**⑥ 企画展「頼原退蔵・尾形竹コレクション展 - 江戸俳諧の精華とその周辺 -」**

頼原退蔵・尾形竹コレクション展を行い、国文学者尾形竹先生のご遺族から寄贈された国文学資料を一堂に公開して、蕪村資料など貴重な俳諧美術資料を鑑賞する機会とした。

- 開催期間 10月3日(木)から11月19日(火) (延日数 48日間)
- 入館者数 4,153名
- ギャラリートーク 11月3日 相原一士当館学芸員 参加者 13名

**⑦ 常設展**

「芭蕉の生涯」テーマ展示「芭蕉の周辺と蕉門」と題して常設展を開催した。

- 開催期間 11月22日(金)から12月9日(月) (延日数 17日間)
- 入館者数 479名

**⑧ 企画展「市民企画展 ふるさと山寺の写真帖 - 石碑・石仏を訪ねて -」**

市民の団体から発案された企画によって、市民の収蔵品、作品を展示する。企画は募集の上、応募企画案の中から選考した。選考の結果、井上順一さんの写真展を実現させる会の「ふるさと山寺の写真帖 - 石碑・石仏を訪ねて-」を開催した。

- 開催期間 12月12日(木)から1月20日(月) (延日数 30日間)
- 入館者数 269名

**⑨ 常設展**

「芭蕉の生涯」、テーマ展示「芭蕉の周辺と蕉門」と題して常設展を開催した。

- 開催期間 1月23日(木)から2月16日(日) (延日数 23日間)
- 入館者数 301名

**⑩ 企画展「お雛さまの歴史と美」**

江戸時代の雛人形を中心に展示。雛人形や桃の節句の歴史とその美術を紹介し、日本文化の美を考え、芭蕉がふれた文化の一端を理解する一助とした。

- 開催期間 2月20日(木)から4月7日(月) (延日数 47日)

- 入館者数 1,492名
- 関連事業 「お雛様作り教室」3月9日(日) 講師 安部英子氏  
参加者 25名
- ギャラリートーク 3月16日(日) 相原一士当館学芸員  
参加者 5名

## (2)普及啓発事業

### ① 第56回全国俳句山寺大会

俳句の普及と振興をはかるため、山寺文化保存会と共催し、名勝山寺の地で、芭蕉が訪れた時期に句会を開催した。

- 日 時 7月14日(日)
- 選 者 今瀬剛一氏、小笠原和男氏、高野ムツオ氏、夏井いつき氏、  
松浦俊介氏、阿部月山子氏、三井量光氏、鈴木正子氏
- 事前投句 1,263句(前年度1,164句)
- 大会参加者 140名(前年度148名)

### ② 第5回山寺芭蕉記念館英語俳句大会

英語俳句を通して俳句の更なる交流促進、俳句文化の国際交流をはかるとともに、英語教育や文化、観光振興に寄与することを目的として開催した。

- 審査委員 飯島武久氏、大場 登氏、万里小路 譲氏、  
リサ ソマーズ氏
- 投句数 1,291句(前年度972句)
- 参加者数 1,004名(前年度742名)
- 表彰式 7月21日(日) 研修室1  
審査委員 飯島武久氏、大場 登氏、リサ ソマーズ氏  
受賞者6名、受賞者付添い11名

### ③ 第44回芭蕉忌俳句大会

俳句の普及と振興をはかるため、山形県俳人協会と共催し、山寺の地で芭蕉を偲び句会を開催した。

- 日 時 10月27日(日)
- 選 者 松浦俊介氏、阿部月山子氏、三井量光氏、鈴木正子氏、  
佐藤興中氏
- 事前投句 550句(前年度650句)
- 大会参加者 47名(前年度49名)

#### ④ 第23回山寺芭蕉記念館文化セミナー（第1部）

広い視野で日本文化と歴史を見つめる講座を開設し、市民文化の向上をはかると共に新たな視点の提示を目的として実施した。今年度は「日本の再興と文化 - 文化に探る日本の岐路 -」と題し行った。

○日時・内容等

第1回 7月20日(土)「生き方としての東北」

東北芸術工科大学教授 田口洋美氏 参加者 35名

第2回 7月27日(土)「こころの危機と再生への過程 - 物語を心理学から読み解く -」

東北福祉大学大学院教授 宇田川一夫氏 参加者 28名

第3回 8月4日(日)「榆家春秋 - 齋藤茂吉・北杜夫一族と日本人の二十世紀 -」

山形大学基盤教育院教授 山本陽史氏 参加者 60名

第4回 8月11日(日)「震災と宗教」

学習院大学教授 赤坂憲雄氏 参加者 68名

#### ⑤ 立石寺根本中堂御本尊薬師如来御開帳記念 第23回山寺芭蕉記念館文化セミナー（第2部）

山寺の歴史と文化を探る講座を開設し、市民文化の向上の一助とした。山形大学の「奥の細道マイスター養成講座(初級)」の講座の一部との協賛企画として開催した。

##### ① 第一日目「奥の細道マイスター養成講座①」

○日 時 10月11日(金) 17時~20時30分

○場 所 山形市霞城公民館

○内 容 等 公開講座「山寺立石寺と『おくのほそ道』」

第1部 講演「立石寺の考古学的知見」

講師 荒木志伸山形大学基盤教育院准教授

第2部 シンポジウム「芭蕉が出会った山寺の魅力」

山形大学基盤教育院教授 山本陽史氏

山形大学基盤教育院准教授 荒木志伸氏

山寺芭蕉記念館 相原一士学芸員

○参加者数 50名

##### ② 第二日目「奥の細道マイスター養成講座②」

○日 時 10月12日(土)

○場 所 山寺芭蕉記念

○内 容 等 立石寺現地講座

講師 山形大学基盤教育院准教授 荒木志伸氏

企画展「潁原退蔵・尾形侑コレクション展」展示品解説等

講師 山形大学基盤教育院教授 山本陽史氏  
山寺芭蕉記念館 相原一士学芸員  
講座 講師 山形大学基盤教育院教授 山本陽史氏  
山形大学基盤教育院准教授 荒木志伸氏

○参加者数 11名

③ 第三日目「奥の細道マイスター養成講座③」

○日 時 10月13日(日)

○場 所 山寺芭蕉記念館

○内 容 等 『おくのほそ道』と芭蕉についての講座

講師 山形大学基盤教育院教授 山本陽史氏

○参加者数 9名

⑥ 芭蕉を偲んで投句しよう

俳句の普及をはかるため、山寺芭蕉記念館内に投句箱を設置し、投句選を行った。

○期 間 4月から3月迄

○投句数 68句(前年度79句)

○選 者 鈴木正子氏(山形県俳人協会幹事長)

⑦ 山寺芭蕉記念館子ども俳句道場

「芭蕉を偲んで投句しよう」の小中学生版とし実施した。俳句を通して松尾芭蕉や山寺、山寺芭蕉記念館への理解を深める機会とした。

○期 間 4月から3月迄

○投句数 71句(前年度24句)

○選 者 武田菜美氏(山形県俳人協会常任幹事)

⑧ ITに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信した。

○アクセス件数

25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)のアクセス件数

回 数	181,839件 (1日/493件) [前年度対比 19.8%増]
人 数	39,505件 (1日/107件) [前年度対比 4.6%減]

事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の公開を行ない山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

(3)茶席事業

① 市民茶会(通年)

抹茶または煎茶の呈茶を行ない、茶道作法など、茶道文化の啓蒙普及をはかった。

○実施状況

実施月	日 数	利用者数 (人)
4 月	2	116
5 月	2	85
6 月	4	295
7 月	2	131
8 月	0	0
9 月	2	132
10 月	1	31
11 月	4	220
合 計	17	1,010 (21.1%)
前年度	14	834

( ) 内は前年度同期比 (%)

② 茶房 芭蕉堂 (通年、但し市民茶会開催日を除く)

抹茶の呈茶を常時行ない、茶道文化に親しむ一助とした。

1 2月から3月は受付ロビーで開催。

○実施状況

実施月	日 数	利用者数 (人)
4 月	18	118
5 月	21	369
6 月	17	189
7 月	18	125
8 月	23	147
9 月	20	237
10 月	25	363
11 月	21	198
12 月	23	35
1 月	23	12
2 月	23	18
3 月	31	50
合 計	263	1,861 (12.0%)
前年度	263	1,661

( ) 内は前年度同期比 (%)

### ③ 山寺感謝の茶会

山寺地区民に対し、平素から山寺芭蕉記念館の事業に理解と協力を頂いていることへの感謝の意を表して呈茶を行い、茶の湯に親しむ機会とした。

○開催日 11月23日(土)

○参加者数 74名(前年度実績60名)

## 最上義光歴史館事業

### (1) 展示事業

#### ① 企画展「市民の宝モノ 2013」〔継続企画〕

山形市民を対象に、所蔵する「宝モノ」を募集して、歴史館の展示室に展示し、広く一般に公開する市民参加型の展覧会として開催。出品された「宝モノ」にまつわるユニークなエピソードなどを紹介した。(出品者22名/出品件数30件)

○期間 1月16日(水)から4月7日(日) (延日数65日間)

○入館者数 278名 ※4月2日から同月7日までの6日間

2,723名 ※企画展の延入館者

#### ② 常設展示Ⅰ「鐵[kurogane]の美 2013 ～郷土の刀工たち～」

歴史館の収蔵刀剣から本県ゆかりの刀鍛冶(室町時代から現代まで)の作品10振を展示し、山形と刀鍛冶の関係や武士の魂とまでいわれる日本刀のすばらしさを紹介する機会とした。(展示資料10点)

○期間 4月9日(火)から7月15日(月) (延日数86日間)

○入館者数 8,831名

#### ③ 肖像画の特別公開

最上義光の重臣で長谷堂城主・坂紀伊守光秀の命日元和2年(1616)4月26日にちなんで、坂紀伊守像(山形県指定文化財/山形市・清源寺蔵)と坂家の末裔より当館に寄託された二代坂重内光重の肖像画の特別公開を行い、あわせて当館所蔵の北館大学助利長像を展示公開した。

○期間 4月20日(土)から5月19日(日) (延日数27日間)

#### ④ 常設展示Ⅱ 最上義光没後四百年記念 企画展示「最上義光と連歌 ～初公開 最上義光等連歌巻『賦何船連歌』～」

平成24年6月に山形市が購入した『賦何船連歌』の初公開を行うとともに、当館で所蔵する最上義光の連歌資料を一堂に公開した。(展示総数5点)



○期 間 7月27日(土)から9月11日(水) (延日数41日間)

○入館者数 4,809名

### ⑤ 常設展示Ⅲ「屏風絵の四季彩」

収蔵資料から、日本の四季の情景が表現されている屏風を展示公開した。「葡萄棚図屏風」(山形市指定有形文化財)、「すすき図屏風」(山形市指定有形文化財)、狩野玄也作「四季花鳥図屏風」(山形県指定有形文化財)、を展示。

○期 間 11月14日(木)から1月13日(月) (延日数48日間)

○入館者数 2,993名

### ⑥ 企画展「市民の宝モノ 2014」展 【継続企画】

山形市民を対象に、所蔵する「宝モノ」を募集して、歴史館で選考して展示し、広く一般に公開する市民参加型の展覧会として開催。出品された「宝モノ」にまつわるユニークなエピソードなどを紹介した。(出品者25名/出品件数40件)

○期 間 1月16日(木)から4月6日(日) (延日数70日間)

○入館者数 3,116名 ※3月31日までの集計

## (2)普及啓発事業

### ①こども講座「ヨシアキ☆すく〜る!? -山形の殿様、義光公を知ろう!-」

最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」とタイアップして、山形市内の小学校に出向き、最上義光を中心に郷土の歴史や文化を学ぶ機会をつくり、郷土史に対する関心と理解を深め、愛郷心を育てる一助とした。

(学校数6校/参加生徒数363名 前年度学校数11校/参加生徒数656名)

○日時、実施校、学年、受講者数、講師

- ・7月10日(水) 9時30分から10時35分まで

山形市立第十小学校 四年生 86名

最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 5名

- ・10月22日(火) 11時から11時50分まで

山形市立第四小学校 四年生 36名

最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 5名

- ・10月29日(火) 10時45分から11時48分まで

山形市立第五小学校 六年生 58名

最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 4名

- ・11月19日(火) 11時から11時55分まで

山形市立第二小学校 四年生 74名

最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 4名

- ・11月21日(木) 10時50分から11時35分まで  
山形市立第八小学校 四年生 70名  
最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 4名
- ・12月12日(木) 14時から15時15分まで  
山形市立第一小学校 四年生 39名  
最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 5名

## ②ボランティアに係わる事業

### 歴史講座「義光塾」

最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」の会員を対象に最上義光や郷土の歴史について多角的に学習して、来館者に対して幅広い知識で接遇が可能となるようにスキルアップを図った。(参加者129名)

○日時、会場、内容、受講者数、講師

- ・6月29日(土) 13時30分から15時30分  
最上義光歴史館研修室  
「連歌の概説と義光連歌について」 25名  
片桐繁雄氏(最上義光歴史館資料整備検討委員会委員)
- ・7月13日(土) 13時30分から15時30分  
最上義光歴史館研修室  
「賦何船連歌を読む」 32名  
片桐繁雄氏(最上義光歴史館資料整備検討委員会委員)
- ・9月21日(土) 13時30分から15時30分  
最上義光歴史館研修室  
「絵巻の見方」 30名  
佐藤 琴氏(山形大学基盤教育院講師)
- ・11月19日(火) 13時30分から14時30分  
山形城二の丸発掘調査現場(二の丸梅の園/霞城公園)  
「最上氏時代の二の丸について」 16名  
齋藤仁氏(山形市教育委員会社会教育青少年課文化財保護係主査)
- ・3月15日(土) 13時30分から(約2時間)  
最上義光歴史館研修室、霞城公園最上義光騎馬像前  
「最上義光騎馬像の制作工程について」 26名  
西村宜真氏(株式会社西村工場 代表取締役)  
南 康弘氏(美術鑄造 南工房代表)

### 「現地研修会」

最上家や郷土の歴史に関する史跡等を現地研修し、現地に赴くことによりボランティアが郷土史と文化財に対する知識と理解を深め、来館者に対してより質の高い接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

- 日時 7月23日(火)
- 内容 最上義光の重臣本城満茂が治めた、出羽国由利郡(秋田県)に赴き、満茂の動向と事績及び最上氏改易後の由利郡の歴史を学ぶ。
- 研修先
  - ・旧本庄市内:本荘公園(本荘城址 修身館)・永泉寺山門(六郷氏菩提寺)
  - ・由利本荘市岩城町:史跡保存伝承の里・天鷲村・赤尾津城址
  - ・由利本荘市矢島町:郷土文化保存伝習施設・八森城址・龍源寺(生駒氏菩提寺)
- 参加者 40名

### (3) 調査研究事業

#### ①最上家関係資料・史跡調査〔継続事業〕

県内外に残る最上家等に関わる文書資料や文化財・史跡などの調査研究を進め、写真撮影等による記録保存及び目録作成、複写等の資料整備を行う。

- ・「紙本著色『遊行上人絵』十巻」山形市光明寺蔵(奈良国立博物館寄託)の調査を行う。

### (4) その他の事業

#### ①ITに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信するとともに、企画から物販まで幅広く展開する。

##### ○一般ページのアクセス件数

回数	622,921件 (1日/1,707件) [前年度対比 28.2%増]
人数	127,935件 (1日/351件) [前年度対比 11.3%増]

##### ○こどもページのアクセス件数

回数	20,176件 (1日/55件) [前年度対比 11.0%減]
人数	5,842件 (1日/16件) [前年度対比 15.7%減]

## (5) 受託事業(最上義光公没後 400 年記念事業)

### ① 特別展「重要文化財 光明寺本『遊行上人絵』 ～最上義光没後四百年記念全巻公開～」

最上義光が文禄三年(1594)に光明寺に寄進した紙本著色「遊行上人絵」十巻(重要文化財)を十巻全巻展示紹介することによって、市民が最上家ゆかりの一級資料であり絵画の優品である本資料を鑑賞する特別な機会とした。

○期 間 9月14日(土)から11月10日(日) (延日数は51日間)

○入館者数 10,002名

○ギャラリートーク (受講者369名)

・講師 松尾剛次氏(山形大学人文学部教授)

・会場 特別展展示室

1)9月15日(日)午前10時から 受講者 91名

2)9月28日(土)午後2時から 受講者 126名

3)10月20日(日)午前10時から 受講者 63名

4)11月2日(土)午後2時から 受講者 89名

### ② 没後四百年記念誌『最上義光公没後四百年 ～その生涯と事績～』刊行業務

義光公没後400年記念の節目に当たり、功績と人物像をわかりやすく解説し、併せて連歌巻をはじめとする最上家関連の宝物・所蔵資料を紹介する書籍を刊行した。

## 2. 理事会・評議員会について

### (1)第1回理事会

日 時 平成25年5月24日(金) 午前11時

場 所 山形グランドホテル アドリア

議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団平成25年度事業  
計画及び一般会計・特別会計収支予算について

(原案どおり承認可決)

第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団平成24年度事業  
報告及び決算の承認について (原案どおり承認可決)

第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員会の開催に  
ついて (開催の日時、場所、目的を決定)

第4号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団管理運営規定の一

部改正について (原案どおり承認可決)  
第5号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団平成25年度一般会計収支予算の補正について (原案どおり承認可決)

(2)第1回評議員会(定時評議員会)

日時 平成25年6月11日(火) 午前11時  
場所 山形グランドホテル 白鳥  
議事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団平成24年度事業報告及び決算の承認について (原案どおり承認可決)  
第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員の選任について (原案どおり承認可決)

(3)第2回理事会

日時 平成26年3月24日(月) 午前11時  
場所 山形グランドホテル アドリア  
議事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団一般会計補正予算について (原案どおり承認可決)  
第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団平成26年度事業計画及び一般会計・特別会計収支予算について (原案どおり承認可決)  
第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員会の開催について (開催の日時、場所、目的を決定)  
第4号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団事務局次長の任命の承認について (原案どおり承認可決)

### 3. 監査に関する事項について

- (1)平成24年度事前監査 平成25年5月16日(木)  
午前9時30分(山寺芭蕉記念館 会議室)  
(2)平成24年度監査 平成25年5月22日(水)  
午前10時(最上義光歴史館 会議室)

### 4. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)山寺芭蕉記念館運営懇談会

日時 平成25年11月29日(金) 午後1時30分  
場所 山寺芭蕉記念館 会議室  
内容 ①報告 ❶平成24年度事業報告

- ②平成 25 年度事業経過報告
- ②懇談
  - ①指定管理者の指定について
  - ②山寺芭蕉記念館の運営について
    - 平成 26 年度事業計画について
    - その他

## (2)最上義光歴史館運営懇談会

- 日 時 平成 26 年 2 月 21 日(金) 午前 10 時
- 場 所 最上義光歴史館 会議室
- 内 容 ①報告
  - ①平成 24 年度事業報告
  - ②最上義光公没後 400 年記念事業報告及び平成 25 年度事業経過報告
- ②懇談
  - ①平成 26 年度事業及び運営について
  - ②その他

## 5. 特筆すべき事項について

### (1) 山寺芭蕉記念館

#### ①茶道裏千家淡交会東北地区大会

山寺芭蕉記念館を会場に 5 月 18 日、19 日に開催され、約 2,200 人の参加者があった。

#### ②立石寺根本中堂御本尊薬師如来御開帳

全国俳句山寺大会が関連事業となり、俳句大会当日に御本尊の御開扉が行われた。また、稚児行列の会場として使用された。

### (2) 最上義光歴史館

#### ①第一展示室、第二展示室、ロビーの各展示ケース及び展示台のクロス張替え(7 月 16 日～26 日)

#### ②最上義光公没後 400 年記念 第 3 回山形県子ども将棋最強戦&学生オープン

将棋をとおして、礼儀を大切にする心や集中力、考える力を養うとともに相互の友情と親睦を深める。また、将棋の普及拡大と将棋向上を図るため、山形県子供将棋最強者・山形県オール学生チャンピオンを決定する。

※公益財団法人山形市文化振興事業団は事業協賛として参加。

- ・開催日時 7 月 21 日(日)
- ・会 場 山形市総合福祉センター 交流ホール(2 階)  
(山形市城西町二丁目 2-22)
- ・主 催 山形県子供将棋育成会
- ・参加者 最強戦 55 名／学生オープン 15 名

## 6. 施設利用状況について

### (1)臨時開館・臨時休館・時間延長について

#### ①山寺芭蕉記念館

期 日	区 分	説 明
4月1日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月8日(月)		
4月9日(火)	臨時休館	展示替のため
4月10日(水)		
4月11日(木)		
4月15日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月22日(月)		
4月30日(火)		
5月7日(火)		
5月13日(月)		
5月20日(月)		
6月3日(月)		
6月4日(火)		
6月5日(水)		
6月10日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月17日(月)		
6月24日(月)		
7月2日(月)		
7月8日(月)		
7月10日(水)	臨時休館	展示替えのため
7月17日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
7月22日(月)		
7月29日(月)		
8月5日(月)		
8月12日(月)		
8月19日(月)		
8月26日(月)	臨時休館	展示替えのため
8月28日(水)		
9月2日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
9月9日(月)		
9月17日(火)		
9月18日(水)	臨時休館	点検等

9月24日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
9月30日(月)		
10月1日(火)	臨時休館	展示替えのため 展示替えのため
10月2日(水)	臨時休館	
10月7日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
10月15日(火)		
10月21日(月)		
10月28日(月)		
11月5日(火)		
11月9日(月)		
11月18日(月)		
11月20日(水)	臨時休館	
11月21日(木)		
11月25日(水)	臨時開館	来館者サービスのため
12月9日(月)		
12月10日(火)	臨時休館	展示替えのため
12月11日(水)		
1月20日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月21日(火)	臨時休館	
2月22日(水)		来館者サービスのため
2月24日(月)	臨時開館	
3月3日(月)		
3月10日(月)		
3月17日(月)		
3月24日(月)		
3月31日(月)		

②最上義光歴史館

期 日	区 分	説 明
4月20日(土)	開館時間延長(18時30分 まで)	観桜会開催のため
4月21日(日)		
4月22日(月)	臨時開館	
7月16日(火)	臨時休館	展示室及び展示台のクロス張替 えのため
7月17日(水)		
7月18日(木)		
7月19日(金)		



7月20日(土)	臨時休館	展示室及び展示台のクロス張替えのため
7月21日(日)		
7月22日(月)		
7月23日(火)		
7月24日(水)		
7月25日(木)		
7月26日(金)		
8月5日(月)	臨時開館及び時間延長 (18時まで)	花笠祭りのため
8月6日(火)	開館時間延長(18時まで)	
8月7日(水)		
9月12日(木)	臨時休館	特別展の展示替え作業のため
9月13日(金)		
11月12日(火)	臨時休館	特別展の撤収と常設展復旧作業のため
11月13日(水)		
1月15日(水)	臨時休館	企画展展示替え作業のため

## (2)無料開放について

### 山寺芭蕉記念館

- 市制施行記念無料開放(7月7日) 224名(大人214名、小中学生10名)
- 文化の日無料開放(11月3日) 597名(大人554名、小中学生43名)